

ギターと植物画に出会って

三浦ひろ子

～植物画との出会い～

ミウラ設計株式会社（土木測量設計）の仕事（ゴルフ場開発に伴う動植物調査）をきっかけに、野草の美しさ、たくましさ、はかなさに気付かされ、それを再現し残す手段として学び始めました。

調査後保全されることになった地区の公園等の樹名板、野草園の看板等にも植物画が採用されました。

また、過労による3回の入院がきっかけで院内のホスピス病棟のパンフレットの挿絵にも使っていただいております。病棟内にも展示し毎年取り替えるなど、思いがけなくボランティアの機会をいただき、多くの方の安らぎになればと思っています。

現在は、近隣市町村の公民館などで植物画を教えています。



ガズミ

～クラシックギターとの出会い～

地区の公民館のギター教室に誘われたことがきっかけです。グループレッスンから個人レッスンに移り、音楽はまるで不得手でしたのに続いています。

初歩クラスのレッスンをお手伝いしたり、定期発表会だけでなく、時には知人の喫茶店で演奏させていただくこともあります。

～2008 ヒマラヤスギの会 in 乗鞍によせて～

植物画もギターもともに始めて15年以上になります。

しかし、平成3年の夫の病気（躁うつ病）の発症により、社員30余名（当時）の会社経営を夫より引き継がざるを得なくなりました。義母のアルツハイマー病発症とも重なり、二人の娘共々10年近い歳月を経て、ようやく第3者に会社を譲渡し、手を引くことが出来ました。

そんなことで、絵もギターもブランクが長く、まだまだ駆け出しです。

今回の演奏で使用するギターは、スペインの名工 サントス・エルナンデスによる1918年ごろのものです。やわらかく、心安らぐ音色を楽しんでいただけたらと思います。

体力が回復するのに時間がかかり、遠方での演奏など思いも及びませんでした。ここまで来られた事に感謝し、皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

